

函 企 計

令和2年(2020年)12月11日

総務常任委員会委員 各位

企 画 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記の資料を別添のとおり配付いたします。

記

- 1 第1期函館市活性化総合戦略（2015～2019）および
令和元年度地方創生推進交付金対象事業の評価結果について
 - ・第1期函館市活性化総合戦略（2015～2019）および
令和元年度地方創生推進交付金対象事業の評価結果〔概要〕…別添1
 - ・基本目標に掲げる数値目標の達成状況……………別添2
 - ・各施策におけるK P I 達成状況……………別添3
 - ・地方創生推進交付金事業調書〔令和元年度実施分〕……………別添4

(企画部計画推進室計画調整課 21-3692)

第 1 期函館市活性化総合戦略（2015～2019）および 令和元年度地方創生推進交付金対象事業の評価結果 [概要]

評価につきましては、資料等をもとに市による内部評価および「函館市まち・ひと・しごと創生推進会議」における外部評価を行いました。

1 第 1 期函館市活性化総合戦略（2015～2019）の評価

第 1 期函館市活性化総合戦略については、令和元年度（2019 年度）をもって計画期間を終了しておりますが、目標値達成状況等を総括的に評価しました。

- 基本目標に掲げる数値目標の達成状況（別添 2）
達成 2 件，未達成 4 件，その他 3 件
- 各施策における K P I 達成状況（別添 3）
達成 21 件，未達成 9 件，その他 4 件

[内部評価]

数値目標や K P I の達成状況等から、第 1 期函館市活性化総合戦略には、一定の成果があったものと評価する。しかしながら、本市における出生数の減少や若者の社会減は著しく、人口減少は依然として厳しい状況にあることから、引き続き、様々な分野にわたる総合的な取組を長期的な視点に立って、継続的に進める必要があるものとする。

[外部評価]

数値目標や K P I 達成に有効であったといえる。

2 令和元年度 地方創生推進交付金対象事業の評価

第 1 期函館市活性化総合戦略の基本目標に掲げる事業のうち、令和元年度に国の当該交付金を活用した事業の効果について、K P I の達成状況等により評価しました。

評価対象事業：「はこだて環流プロジェクト」（H30～R2，3 年間）

- 地方創生推進交付金事業調書 [令和元年度実施]（別添 4）
K P I 達成状況 達成 2 件，未達成 2 件

[内部評価]

事業評価：C…効果があった
今後の方向性：ウ…事業の継続

[外部評価]

K P I 達成に有効であったといえる。

基本目標に掲げる数値目標の達成状況（第1期函館市活性化総合戦略）

別添2

基本目標	数値目標	基準値	実績値					目標値(R1)	達成度
			H27	H28	H29	H30	R1		
【基本目標1】 経済を元気にする	観光入込客数	484万人 (H26)	495万人	560万人	524万人	526万人	537万人	600万人 (R2)	—
	創業者件数 (出典:創業支援事業計画)	—	11件	累計18件	累計55件	累計102件	累計132件	累計200件	未達成
【基本目標2】 子どもたちと若者の 未来を拓く	子育て支援の満足度 (出典:市民等アンケート)	11.2% (H27)	—	—	—	—	13.1%	20.0%	未達成
	新規雇用創出	—	71人	累計198人	累計311人	累計364人	累計442人	累計358人	達成
【基本目標3】 市民の安全・安心を 守る	健康寿命 (出典:健康はこだて21)	男76.2歳 女82.5歳 (H22)	—	男77.3歳 女82.6歳 (道公表)	—	—	— (道未公表)	延伸	—
	住みやすさの満足度 (出典:市民等アンケート)	73.1% (H27)	—	—	—	—	64.7%	80.0%	未達成
【基本目標4】 まちの魅力をさらに 高める	函館の印象「とてもよい」の回答 (出典:函館市観光基本計画)	76.2% (H26)	81.1%	66.6%	65.0%	—	55.9%	80.0% (R5)	—
	外国人宿泊者数 (出典:北海道観光入込客数調査報告書)	34.6万人 (H26)	39.7万人	40.5万人	50.2万人	55.1万人	46.9万人	増加	達成
【基本目標5】 広域連携を強化する	渡島管内の観光入込客数 (出典:北海道創生総合戦略)	1,062万人 (H26)	1,092万人	1,267万人	1,171万人	1,204万人	1,201万人	1,320万人	未達成

各施策におけるKPI達成状況（第1期函館市活性化総合戦略）

別添3

基本目標1 経済を元気にする

No.	施策内容	重要業績評価指標 (KPI)		実績値					目標値(R1)	達成度	R1 主な事業内容
		KPI	基準値	H27	H28	H29	H30	R1			
1	国内プロモーション活動の強化	国内プロモーション実施回数	19回 (H26)	24回	累計40回 (H28 16回)	3年間累計 61回 (H29 21回)	4年間累計 103回 (H30 42回)	5年間累計 124回 (R1 21回)	累計 100回以上	達成	東京などでの商談会や食の魅力を広げるイベント等への参加によるプロモーションを行ったほか、近隣市町や北海道と連携した教育旅行プロモーションを行った。
2	海外プロモーション活動の強化	海外プロモーション実施回数	13回 (H26)	11回	累計25回 (H28 14回)	3年間累計 34回 (H29 9回)	4年間累計 41回 (H30 7回)	5年間累計 48件 (R1 7回)	累計 50回以上	未達成	台湾やマレーシア、シンガポールでのトッププロモーションやイベント参加により、海外の航空会社等に対し、チャーター便運航や観光客送客について要請活動を行った。
3	MICE, スポーツ大会・合宿等の誘致強化	合宿誘致補助金交付実績	18件 (H26)	35件	46件	36件	40件	23件	交付実績の増加	達成	スポーツ合宿誘致補助金として23団体への経費一部補助を実施し、535名の参加者を得た。また、アリーナ・フットボールパークを活用した、道内外の競技団体や高校・大学を対象とした誘致活動を行った。(新型コロナの影響で2/26～3/19の間施設が休業した影響により減少した。)
		MICE主催団体等誘致訪問件数	71件 (H26)	50件	累計109件 (H28 59件)	3年間累計 183件 (H29 74件)	4年間累計 227件 (H30 44件)	5年間累計 259回 (R1 32回)	累計 350件以上	未達成	札幌、東京、大阪、福岡の業界団体や学術機関等への誘致活動を実施したほか、開催する大会等に対して補助金を支出した。
4	地場産業の活性化	デザイン戦略策定 [H30削除]	2件 (H26)	2件	累計2件 (H28 0件)	3年間累計 2件	—	—	累計 10件	—	(H30年度削除)
		地元企業と地元デザイナーとの マッチング数[H30追加]	—	—	—	—	3件	2年累計 7件 (R1 4件)	累計 4件	達成	市内食品加工企業の商品パッケージデザインを市内のデザイナーから公募する「函館パッケージ展」を通じて、地元企業とデザイナーのマッチングを図るとともに、展示会を通じた作品のPRを実施し、デザイン産業の振興を図った。
		商談件数	76件 (H26)	528件	累計 1,150件 (H28 622件)	3年累計 1,897件 (H29 747件)	4年累計 2,509件 (H30 612件)	5年累計 2,979件 (R1 470件)	累計 300件以上	達成	国内向けの商談会として計8回の商談会で139件の商談があったほか、海外向けの商談会では計7回の開催があり、235件の商談に繋がった。また、海外で開催される展示商談会への出展者に対して補助をしており、補助によって出展した海外展示商談会では96件の商談に繋がった。
5	新産業の創出	競争的資金の獲得	—	3,576万円	累計 6,827万円 (H28 3,251万円)	3年間累計 9,147万円 (H29 2,320万円)	4年間累計 9,422万円 (H30 275万円)	5年累計 10,134万円 (R1 712万円)	累計 4,500万円 以上	達成	イカ類の高鮮度流通の実用化に関する研究のほか、スルメイカの対光行動の解析や定置網への小型マグロ入網予測等、養殖対象魚種および場所の調査など(一財)函館国際水産・海洋都市推進機構は、計6件712万円の資金を獲得した。
		漁業経営体数 [H28完了]	1629体 (H25)	1,813体	1,764体	—	—	—	1700体 (H28)	達成	—

6	起業化支援	創業支援者件数	270件 (H26)	430件	累計 797件 (H28 367件)	3年間累計 1,178件 (H29 381件)	4年間累計 1,559件 (H30 381件)	5年間累計 1,820件 (R1 261件)	累計 1,400件	達成	起業創業に関する相談のほか、創業支援セミナーやビジネスプラン作成スクール等の開催、創業資金の補助等を通じて支援を行った。
7	企業誘致	企業立地件数	1件 (H25)	6件	累計 8件 (H28 2件)	3年間累計 18件 (H29 10件)	4年間累計 20件 (H30 2件)	5年間累計 22件 (R1 2件)	累計 21件	達成	R1はIT関連企業2社を誘致した。

基本目標2 子どもたちと若者の未来を拓く

No.	施策内容	重要業績評価指標 (KPI)		実績値					目標値(R1)	達成度	R1 主な事業内容
		KPI	基準値	H27	H28	H29	H30	R1			
1	安心して子どもを産み、育てることができるまちづくり	妊婦一般健康診査受診率	79.7% (H25)	86.3%	83.2%	81.0%	83.9%	81.5%	95.0%	未達成	母体や胎児の健康確保の上で重要な妊婦検診を、経済的な理由で未受診とさせないため、妊娠中に必要な14回の妊婦一般健康診査の公費負担を実施している。
	(ア)保護者への支援	地域放課後児童健全育成事業	47クラス (H26)	56クラス	59クラス	65クラス	66クラス	68クラス	61クラス	達成	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童の安全・安心な居場所の確保を図るため、地域放課後児童健全育成事業(学童保育事業)を実施した。
2	(イ)事業者への運営支援	各種補助制度等の実施	各種補助制度等の実施	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	各種補助制度等の充実	達成	多子世帯の保育料負担軽減や幼児教育の段階的無償化の推進など保護者の保育料軽減と子育てに関する補助制度の拡充を図った。
3	(ウ)教育・保育の質の向上	アフタースクール実施箇所	7箇所 (H26)	11箇所	14箇所	17箇所	20箇所	20箇所	30箇所	未達成	市内の小学校に放課後や長期休暇中に児童の学習支援を行うアフタースクールをH24年度から設置している。設置箇所数は年々増加しているが、R1年度は前年度同数に留まった。
4	若者の就労支援	新規雇用創出累計	—	71人	累計 198人 (H28 127人)	3年間累計 311人 (H29 113人)	4年間累計 364人 (H30 53人)	5年間累計 442人 (R1 78人)	累計358人	達成	国の支援措置である実践型地域雇用創造事業で得たノウハウ等を活かして、事業主向け各種研修、求職者向け各種講座、合同企業説明会を開催した。
5	若者の交流の場の提供	若者が交流できる場	1箇所 (H26)	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所以上	達成	既存施設である青年センターに加え、H29年度に2箇所目の施設となる函館コミュニティプラザ(Gスクエア)がオープンした。
6	女性の就労支援	女性再就業者数	20人 (H26)	32人	累計 84人 (H28 52人)	3年間累計 154人 (H29 70人)	4年間累計 193人 (H30 39人)	5年間累計 216人 (R1 23人)	累計 100人	達成	再就職意欲のある子育て中の女性に対して、託児サービスの提供とあわせてビジネスマナーなど就業に必要なスキルを習得する基礎講座のほか、パソコンスキル習得などの実践講座を実施した。
7	大学の魅力向上	各校の収容定員充足率 [H30削除]	各校の収容定員充足率	増加2校 (10%未満)	増加2校 (10%未満)	増加3校 (10%以上1校)	—	—	収容定員内での充足率 10%増加	—	(H30年度削除)
		アカデミックリンク参加者数 [H30追加]	523人 (H29)	—	—	—	615人	623人	550人以上	達成	キャンパスコンソーシアムは、市内大学、高校、企業等(市内大学4校、短大2校、高専1校、専修学校1校、市外大学4校、市内高校3校、企業・団体等)の参加によるアカデミックリンクを開催した。

基本目標3 市民の安全・安心を守る

No.	施策内容	重要業績評価指標 (KPI)		実績値					目標値 (R1)	達成度	R1 主な事業内容
		KPI	基準値	H27	H28	H29	H30	R1			
1	地域包括ケアシステムの構築	函館市高齢者保健福祉計画・函館市介護保険事業計画の着実な実施	—	各種実施	各種実施	各種実施	各種実施	各種実施	計画の着実な実施	達成	地域包括支援センター10箇所において、相談・対応するとともに、多職種連携研修および介護予防教室等を開催した。
2	健康増進・生きがいづくりの推進	高齢者対象大学学生数	758人 (H25)	854人	933人	1,011人	802人	749人	850人	未達成	高齢者が楽しみながら知識や教養を身につけ、豊富な社会経験等を地域社会に活かすための学習の場として高齢者対象大学を4校(亀田老人大学, 高齢者大学青柳校, 高齢者大学湯川校, 高齢者大学大門校)で実施した。H30～R1年度については、亀田福祉センターの閉館や市民会館耐震工場の影響に伴い別会場での実施となったことから学生数が減少した。
		がん検診受診率	4.6%[胃がん] 13.2%[肺がん] 11.2%[大腸がん] 29.0%[乳がん] 33.4%[子宮がん] (H26)	4.6%[胃] 12.8%[肺] 11.9%[大腸] 30.7%[乳] 32.2%[子宮]	3.9%[胃] 11.9%[肺] 7.9%[大腸] 22.2%[乳] 24.4%[子宮]	3.7%[胃] 11.8%[肺] 8.0%[大腸] 16.9%[乳] 21.3%[子宮]	3.6%[胃] 11.9%[肺] 7.7%[大腸] 16.4%[乳] 21.2%[子宮]	3.7%[胃] 11.1%[肺] 8.5%[大腸] 16.8%[乳] 21.4%[子宮]	基準値から10%以上増加	未達成	受診率向上のための取り組みとして、胃・肺・大腸がん検診の有効性を説明した勧奨はがきを送付したほか、乳がん検診は40歳、子宮がん検診は20歳の者を対象に無料クーポン券を配布した。また、市内各所において巡回検診を実施するとともに、条件に合致する場合の受診料免除の取り組みを行った。
3	公共施設の耐震化	対象となる公共施設の耐震化を順次実施	—	90.0%	90.0%	92.4%	92.9%	93.1%	速やかに順次実施	達成	函館市耐震改修促進計画に基づき市有建築物の耐震化を進めている。

基本目標4 まちの魅力をさらに高める

No.	施策内容	重要業績評価指標 (KPI)		実績値					目標値 (R1)	達成度	R1 主な事業内容
		KPI	基準値	H27	H28	H29	H30	R1			
1	観光ブランド力の強化	地域ブランド調査魅力度ランキング	1位 (H26)	1位	1位	2位	1位	1位	1位の取得	達成	獲得ポイントとしては、H30年度の50.0%から55.9%と5.9%増加し、1位となった。
2	観光客受入体制の整備	観光ガイド数 [H28追加]	88人 (H27)	—	—	101人	108人	103人	120人	未達成	観光ボランティアガイド育成研修や観光ホスピタリティ講演会を実施するなど、観光ガイドの増加をめざした。
		観光説明板の多言語化(3言語以上) [H28追加]	6基 (H27)	—	—	6基	6基	73基	40基	達成	景観まちづくり刷新支援事業費補助金および観光振興事業費補助金を活用し、市内の観光説明板73基について、英語、簡体字、タイ語、韓国語に対応する改修を実施した。日本語と英語のみ盤面に記載し、その他4言語はwebページで対応。
		主要観光エリアでのWi-Fi環境の整備 [H28完了]	未整備 (H26)	1エリア	4エリア	—	—	—	4エリア (H28)	達成	—

3	陸・海・空の交通網のさらなる充実	国内航空路線数	7路線 (H27)	国内:7路線 国際:新規開設	国内:8路線 国際:新規開設	8路線	7路線	6路線	国内航空路線の維持・充実および国際航空路線の新規開設を含む路線の充実	未達成	H29年に国内線で初のLCCが就航し8路線に増加したが、その後、三沢線が廃止となったほか成田線も運休となり、6路線に減少した。国際線については、H28年に台北線においてLCCが新たに就航したが、中国路線の相次ぐ運休の影響もあり、また、新型コロナウイルスの影響で唯一の国際定期線である台北線がR2.3から運休となっており、今後においても利用者の減少が懸念される。
4	公共交通の再編	路線バス利用者数の減少率と人口減少率との比較	路線バス利用者数の減少率が人口減少率より大きい (H22)	人口4.7%減 バス4.3%増	人口5.7%減 バス5.8%増	人口6.8%減 バス7.3%増	人口8.1%減 バス3.3%増	人口9.3%減 バス4.0%増	路線バスの利用者数の減少率が人口減少率以下 (R6)	—	(目標年次R6年度) H22.9の住民基本台帳の人口に対するR1.9の人口減少率は9.3%であるのに対して、市内路線バスの利用者数は、4.0%の増加である。主な事業としては、H30に「地域公共交通網形成計画 [再編実施計画 2019-2021]」を策定したほか、H31.4には路線バス系統番号を刷新し利用者にとってわかりやすいものとした。概ね順調に推移。
5	歴史的建造物等の適正維持	伝統的建造物	75件 (H26)	75件	77件	77件	77件	76件	伝統的建造物の維持	達成	歴史的建造物が適正に維持されている。保存に向けた取り組みとして、歴史的建造物継承・活用推進事業、伝統的建造物群保存地区保存事業により調査、修理を実施した。
		景観形成指定建築物等	48件 (H26)	48件	48件	48件	48件	48件	48件	景観形成指定建築物等の維持	達成
6	移住者・定住者の誘致	過去5年間の移住件数の年平均	13組 (H22-H26)	2組	累計11組 (H28 9組)	3年間累計 16組 (H29 5組)	4年間累計 22組 (H30 6組)	5年間累計 29組 (R1 7組)	累計 90組以上	未達成	地域交流まちづくりセンター内の移住サポートセンターにおいて把握している移住者の数字等を実績値としている。なお、東京都の「ふるさと回帰センター」における相談員では年間200件以上の相談を受けている。

基本目標5 広域連携を強化する

No.	施策内容	重要業績評価指標 (KPI)		実績値					目標値 (R1)	達成度	R1 主な事業内容
		KPI	基準値	H27	H28	H29	H30	R1			
1	広域連携の強化	本市の平均宿泊数	1.17泊 (H26)	1.18泊	1.21泊	1.22泊	1.27泊	1.23泊	1.28泊 (R5)	—	(目標年次R5年度) R1年度においては、観光ルートガイド「ぐる〜とはこだて」に新たな体験メニューを盛り込み、首都圏や北関東、南東北エリアの観光客および旅行会社向けに配布をし、はこだて圏域の新しい楽しみ方や最新の観光情報を提供し函館のPRを実施した。

地方創生推進交付金事業調書〔令和元年度実施分〕

別添4

No.	事業の概要	R1実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値						今後の方向性		
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	H30年度1年目	R1年度2年目	R2年度3年目	KPI累計	内部評価	理由	
事業名: 「はこだて還流プロジェクト」 事業期間: 平成30年度～令和2年度(3か年)												
1	<p>【活性化総合戦略における位置付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標2 子どもたちと若者の未来を拓く 施策:若者の就労支援 基本目標4 まちの魅力をさらに高める 施策:移住者・定住者の誘致 <p>【事業目的】 次代を担う子どもたちに、まちに対する誇りや地域愛を醸成し、地元に残り主体的に地域を支えるような人材を育てていくほか、IT企業の誘致による雇用の場の確保に努めつつ、IT技術者をはじめとしたIJUターン移住者・定住者の確保につなげていく。</p> <p>【令和元年度実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 函館TOM向上推進事業 小学生向けワークショップの開催 移住検討者向けセミナーの開催 IJUターン推進事業 しごとフェスタ開催事業 IT技術者人材育成支援補助金 未来のIT人材育成推進事業 ふるさと回帰支援センターへのブース設置 	15,500	7,574	①移住相談による移住者数(単年度実績)	—	26人 7人	26人 9人	26人 —	78人 16人	C 効果あり	ウ 事業継続	目標に達していないKPIはあるものの、全てのKPIで前年度実績より増加しており、概ね事業の目的となる成果が得られたとみなせるため。
②IJUターン就職相談者数(単年度実績)	—	20人 22人	30人 24人	50人 —	100人 46人							
③移住相談件数(前年度増加分実績) ※()は単年度実数	293件	30件 34件(327件)	30件 143件(470件)	30件 —	90件 177件(797件)							
④学生向けワークショップ参加者数(単年度実績)	—	15人 21人	30人 43人	45人 —	90人 64人							

【内部評価の区分】

- A…非常に効果的であった
- B…相当程度効果があった
- C…効果があった
- D…効果がなかった

【今後の方向性の区分】

- ア…追加等更に発展させる
- イ…事業内容の見直し(改善)
- ウ…事業の継続
- エ…事業の中止
- オ…予定通り事業終了